

1. ルートの見直し (資料 2-2 ~ 2-11)

- ・ **コース数**は現行と同じく **4コース**
- ・ 全コース **両回り運行**を実施
- ・ 交通空白地の解消等をするため、市西部（**市営大縄住宅東・西地域防災コミュニティセンター**）や**東愛宕町**、**生涯学習センター**に**停留所を新設**
- ・ 現在の利用状況等を踏まえて、**古川町**、**津島市老人福祉センター**、**江南住宅口**の**停留所を廃止**

2. ダイヤの見直し (資料 1、2-2、2-12)

- ・ 両回り運行と合わせて、**1日の運行便数**を**増加**

コース	1日あたりの便数		増減
	改正前	改正後	
Aコース	5便	→ 7便	2便増
Bコース	4便	→ 6便	2便増
Cコース	4便	→ 7便	3便増
Dコース	4便	→ 7便	3便増

- ・ **朝及び夕方**の**運行の有無**は、**通勤・通学対応実証実験の結果**を踏まえ、以下のとおりとする

～ 資料 1 より抜粋 ～

津島駅～老松住宅線、青塚駅～永和駅線ともに**利用率が低い**ことから、今回のふれあいバスの見直しにおいて、**通勤・通学時対応は実施しない**。

ただし、津島駅～老松住宅線の津島駅 7:40 発については、**比較的利用率も高く**、1年を通しての定期運行となった場合、利用者の増加も見込めるため、見直しにおいて考慮する。

➡ **Aコースの朝の時間帯設定で考慮**

- ・ 全コース両回り運行に対応することから、ダイヤを全面的に改正
- ・ 現状、乗降者数が多い停留所など、慢性的に遅延が発生している箇所や、運転士の休憩時間の確保、遅延が発生した場合の時間調整等を考慮して設定

3. 車両の見直し

- ・ 利便性向上の観点から、**車両台数**を2台から**4台に拡大**（各コース1台）
- ・ **車両サイズ**は、31人乗りの現行車両から**29人乗りのポンチョショートタイプ**の車両に**変更**予定



※ポンチョ（ショートタイプ）イメージ図
(カタログより抜粋)

※大型車両通行規制の道路がないコースについては、31人乗りの車両となる可能性あり

4. 実施方法

- ・ 新たなルート・ダイヤでの運行は、**当初2年間は実証実験として実施**。
- ・ 実証実験期間中（令和9年10月～令和11年9月頃までを予定）の乗降者数等を勘案し、両回り運行を本格運行するかどうか、今後の運行形態を令和11年10月頃から検討（令和12年10月～本格運行開始予定）

5. 運賃の見直し

- ・ 将来の持続可能性を担保するため、現行の1乗車**100円**から**将来的に値上げ**を検討
- ・ ただし、**当面の間**は、**利用促進のため**、**現行と同じ100円**で運行
- ・ 小学生以下は、現行どおり無料

6. その他（利便性向上等）

- ・ 今回の見直しにより、ルート等が複雑になり、利用者にとってわかりにくくなることから、わかりやすい時刻表の作成、新たなバスロケーションシステムの導入、外国語対応や運賃の割引制度の導入など、利便性の向上・利用促進に向けた検討を行う

7. 今後のスケジュール

令和8年	3月	第5回巡回バス検討委員会	見直し案取りまとめ
	7月～	停留所周辺環境整備、停留所標識調達等	
	9月	運賃協議会	
		地域公共交通会議	運行計画変更協議
	10月～	バス車両調達	
令和9年	秋	新たなルート・ダイヤでの 実証実験 運行開始	} 実証実験期間： 約2年
令和11年	秋～	実証実験結果を踏まえて今後の運行形態を検討	
令和12年	秋	実証実験の結果を踏まえた 本格運行 開始	